



だより



R8.9.8 Vol.18

ご意見ありがとうございます！

「校長先生！私も参観日の画像・動画撮影の禁止…ショックでした。」とご意見いただきました。「参観できなかった知り合いや、おじいちゃん、おばあちゃんにも送ったりできるので…」お気持ちはすごくよく分かります。今ときですから、おそらく同じ思いの方がたくさんいるのだと思います。

ただ、子供の画像・映像はどう悪用されるかわかりません。(保護者の皆さんが悪用するということではないですよ。) それと自分ではないとわかっていても、撮影されていると思うと教師は授業を非常に進めにくくなります。ふと言った冗談が切り取られるかもしれません。結局、当たり障りのない他所行きの雰囲気になりがちです。普段通りの雰囲気です学習する教師や子供たちを見てほしいと思っています

どうぞよろしくお願いします。

オヤジですが何か…②

10年ほど前までマスターズスイムに挑戦していた時期があります。仕事帰りにひと泳ぎして、「まだまだいける！」と鼓舞していました。が、立場が変わり、勤務地も遠くなり、そこからすっかり遠のいていました。運動不足か、はたまた誰かの呪いか(笑) 身体の不調が気になり始めたので、もう一度目指してみようかと練習を再開したのですが…。

昔と同じ感覚で泳いでいるのに息は上がるがタイムは下がる。同じ時間で泳げる距離もずいぶん短くなっている。身体は正直です、いや正直すぎます。(泣) 生成 AI に相談しても、「無理せず年相応の運動量で！」とたしなめられる始末。

年を取ることを受け入れた顔をしながら、どこかでしっかり抗おうとしている。

難しいお年頃です。



四方山話松蔭 ver. 其の十八(言われたことしかない若手社員)

『言われたことしかない若手社員』一学期に紹介した書籍のリストの一つです。まあ、人って過去を美化しがちなので、自分の若い頃もそうだったのかもしれないと反省したり、褒めることを重視し過ぎたゆとり教育の負の側面かなと思ったりもします。ただ「若者」と一括りにするのは乱暴だと承知しつつも、今の若い世代は自分の親世代(まさに私の世代です！)ががむしゃらに働く姿を見たり、失われた30年と呼ばれる日本経済の停滞や終身雇用や年功序列の崩壊が進んだりしてきた環境の中で育っています。そんな背景もあり、「コスパやタイパはいいのか？」を判断基準の中心に置いている若者が多いように思います。コスパやタイパがいいこと。これは悪いことではありません。実際、私たち教員の働き方改革においても重要な視点です。2チャンネルの開設者で「論破王」とも呼ばれるひろゆきさんもその著書の中でコスパとタイパを独自の切り口で論じており、なるほどなあと感心します。その文脈で耳にする「静かな退職」―出世や給料アップを望まず、与えられた仕事のみを淡々とこなす働き方―言われたことしかない若手社員と重なる部分かなりあります。「その何が悪いの？」と問われると、正直、迷う場面もあります。(効率化は悪いことではないですからね…。)

ただこうした価値観が広がる中ですが、教育の世界は少し違うのではないかとと思っています。極端かもしれませんが、目の前に泣いている子供がいるのに、「勤務時間外なので帰ります。」というのは「あり」なのか？コスパとタイパに全振りしたら教育は崩壊する。これは私の持論です。

働き方改革が叫ばれ始めた数年前、文科省は「登校指導は教員の職務ではない」という趣旨のガイドラインを出しました。しかし教育には効率だけでは割り切れない仕事が多くあります。毎日、登校指導に出る職員、それに参加していただく保護者の皆様、地域の皆様に私は感謝の日々です。

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思っています。